

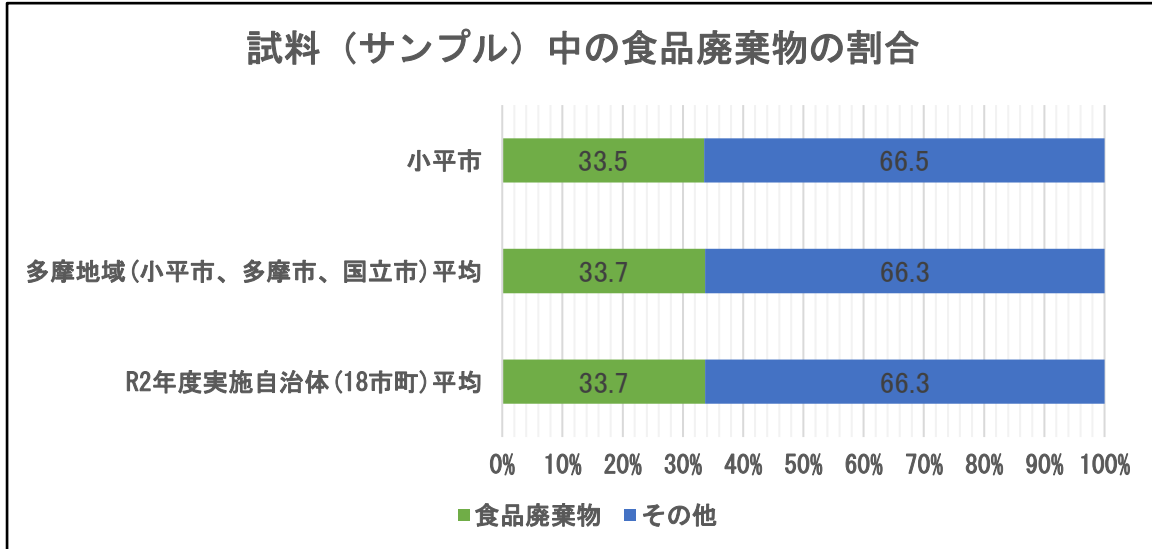
## ◎小平市の食品ロス実態調査結果について(R2年度調査)

※本資料は比較用として環境省の調査基準を用いているため、「食品ロス」に「過剰除去」は含まれていません

・小平市の試料の可燃ごみ中の食品廃棄物の割合は33.5%であった。

今回調査を実施した18市町の平均値は33.7%であり、小平市の結果は平均的な数値であるといえる。

なお、多摩地域3市（小平市、多摩市、国立市）の平均値も33.7%である。



・小平市の食品廃棄物に占める食品ロス（直接廃棄及び食べ残し）の重量割合は29.0%

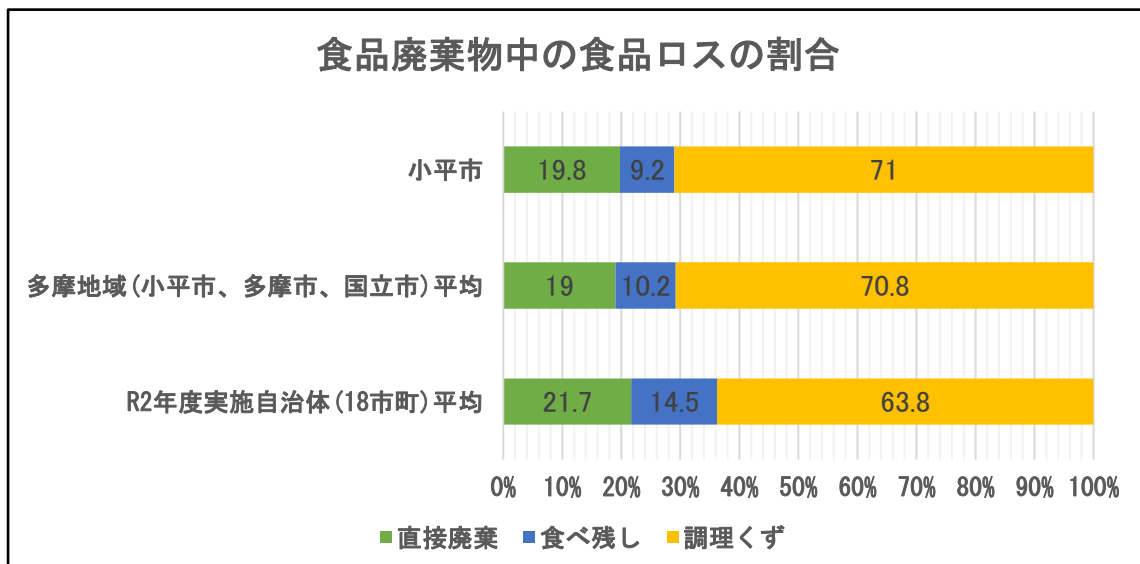
また、食品ロスの重量割合の内訳は、直接廃棄が19.8%、食べ残しが9.2%であった。

今回調査を実施した18市町の食品ロスの重量割合の平均値は36.2%であり、小平市は平均よりも7.2%低い数値であった。

また、18市町の食品ロスの重量割合の内訳については、直接廃棄が21.7%、食べ残しが14.5%となっており、小平市はどちらとも平均よりも低い結果であった。特に、食べ残しは平均よりも5.3%低い数値であった。

なお、多摩地域3市（小平市、多摩市、国立市）の食品ロスの重量割合の平均値は、食品ロスの重量割合が29.2%であり、多摩地域の中では、小平市は平均的な数値といえる。

さらに、多摩地域3市の食品ロスの重量割合の内訳については、直接廃棄が19.0%、食べ残しが10.2%であり、多摩地域の中では、小平市は直接廃棄が少し高く、食べ残しが少し低い結果であった。

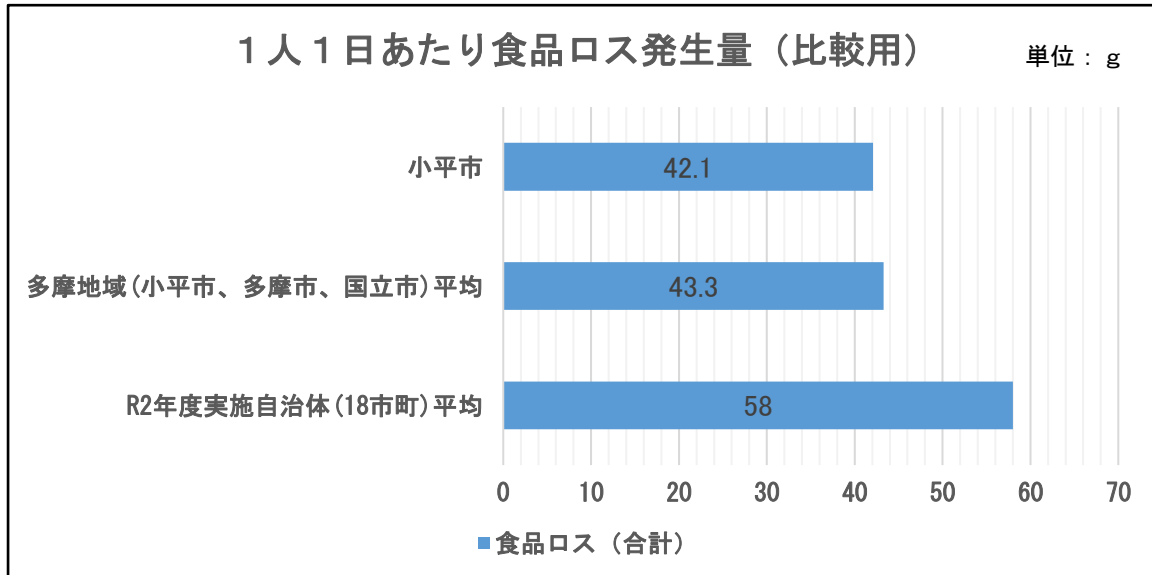


・小平市の1人1日あたりの食品ロス量（推計）は42.1グラムであった。

その内訳は、直接廃棄が28.7グラム、食べ残しが13.3グラム（端数処理のため上記の合計量とは一致しない）であった。

今回調査を実施した18市町の平均は、1人1日あたり58グラムであり、小平市は平均よりも約16グラム少ない量であった。なお、最大値が137グラム、最小値が25グラムと自治体によって大きな差がある。

また、多摩地域3市の平均は、43.3グラムであり、多摩地域の中では、小平市は平均的な数値であった。



## 【参考】

食品ロスとは

「直接廃棄」：賞味期限切れ等により料理の食材として使用又はそのまま食べられる食品として使用・提供されずに直接廃棄されたもの。手つかず食品。

(ex. パックに入ったままの肉、何枚か袋に残っている食パンなど)

なお、グラフには細かく載せていないが、今回の調査では原形の残り具合によって、直接廃棄の中でさらに3段階に分類されている。

「食べ残し」：調理され又は生のまま食卓にのぼった食品のうち、食べ切れずに廃棄されたもの。

(ex. 調理された麺、炊いたご飯の残りなど)

「過剰除去」：不可食部分を除去する際に過剰に除去された可食部分。

(ex. 厚くむき過ぎた野菜の皮など)

※「不可食部」に上記3つの分類の「食品ロス」に加えたものが「食品廃棄物」である。

### 食品廃棄物（可食部＋不可食部※）

※不可食部は、野菜の皮、肉・魚の骨など、主に調理の過程で除去された調理くず

### 食品ロス（可食部）

※食品ロスは、本来食べられるにもかかわらず、ごみとして廃棄されたもの

直接廃棄  
(手つかず食品)

食べ残し

過剰除去